

CoasterLinkの概要

デジタル X フィジカルのハイブリッド体験

コレクション性、来店記念品、コンプリート性

来店証明、真正性担保、所有権担保

ポイントでのランク(ステータス)付与や特典

- 実物のコースターの裏にQRコードを貼付
- QRコードには、店舗や分類、ビールの情報の他に一枚一枚固有のIDが振られている
- お客様が専用ユーザーアプリでスキャンし登録することにより来店証明、所有権担保、真正性担保がなされる
- アプリでのテスティングの実施やイベント参加、再来店数などでポイント付与（リピート率向上）
ポイントに応じてステータスアップ(None⇒Bronze⇒Silver⇒Gold)
- トレイリングによる特典付与(限定コースターなど)
(一定地域や特定条件のコースターをコンプリートすること)



CoasterLink のビジネスモデル

① サブスクリプション(店舗向け)

月額制 : 例) ¥6,000/月

含まれる内容: コースター準備

QRコード印刷、(VOIDシール貼付)、データ登録
店舗管理アプリの利用

② ユーザーアプリ内広告

広告枠を販売

月額広告料の例:

小規模: ¥5,000/月

中規模: ¥15,000/月

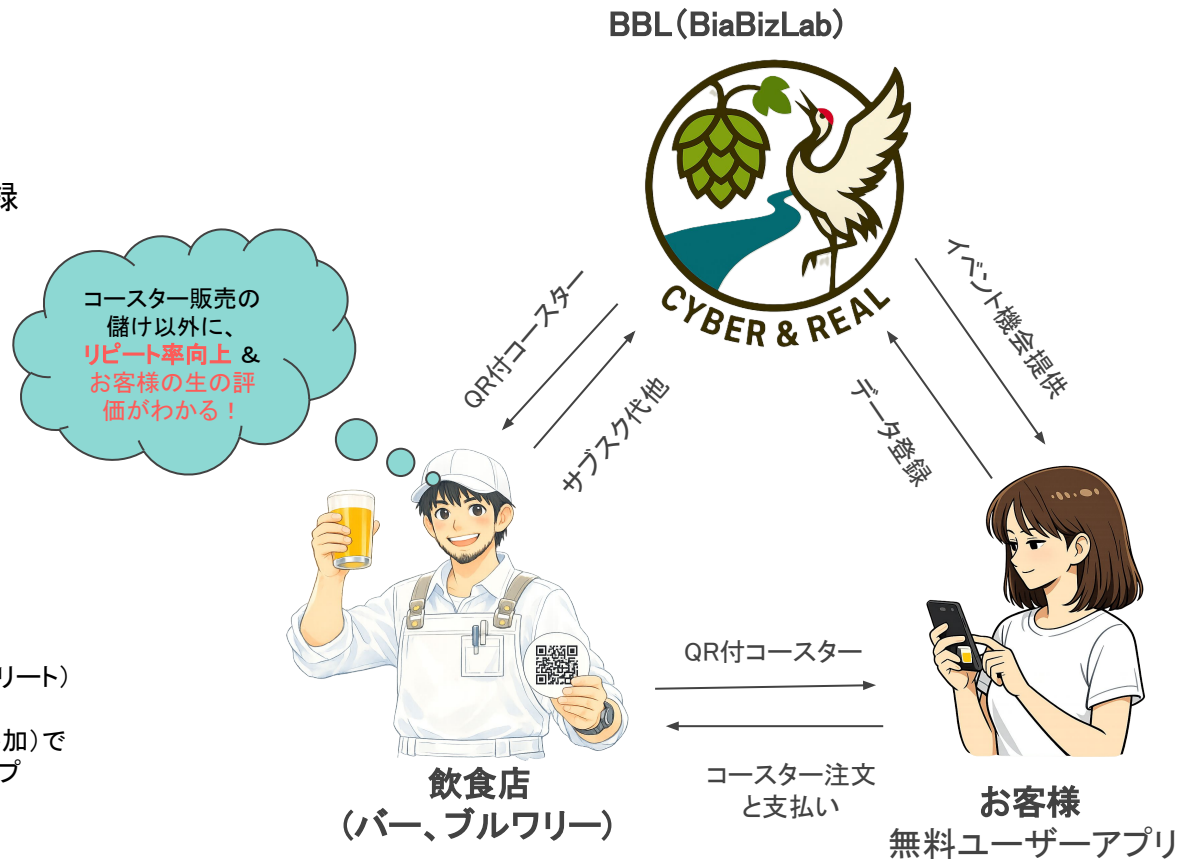
大規模: ¥30,000/月

③ お客様

コースターをブルワリーから購入/アプリは無料

コレクション性を楽しむ(小田急沿線ブルワリーのコンプリート)
(各種コンプリートで限定コレクション進呈など懸賞)

お客様のアクション(再来店、テースティング、イベント参加)で
ポイント付与、ポイントアップでコースターステータスアップ
条件が満たされるとNFT付与



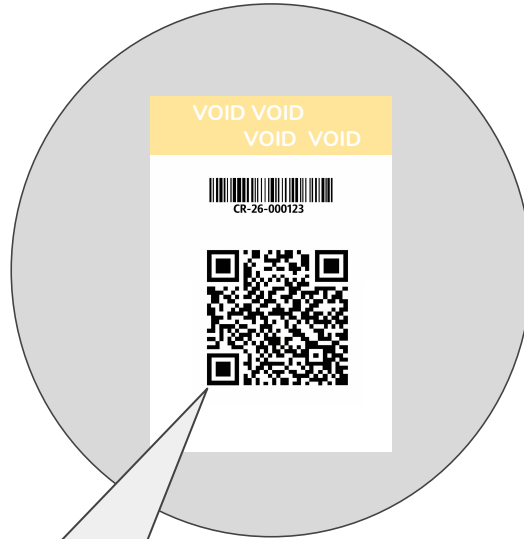
コースター(イメージ)

- ①BBLは店舗からコースター借り受けQRコード及び透明保護フィルムをコースターに貼付
(これらに紐づくデータ登録もDBに登録)
- ②お客様はTAP-ROOMでQR付きコースター購入
- ③お客様は店内でアプリにログインし、QRコードをスキャンし登録する



表

BBLで印刷し貼ったコースターの
UUIDが入ったQRコード



裏

QRコード(コースターID)が必要な理由

QRコードは「コースターそのものの固有ID」

役割: コースターの識別(1枚ごとに固有)
顧客が購入したコースターの登録
来店証明の基礎データ
デジタル所有権の紐づけ
NFT化の元データ

理由: スマホで即スキャンできる
誤読が少ない
データ量が多くても対応可能
物理コースターとデジタルデータを結びつける

保護フィルム(シリアルID)を使う場合がある

例えば、防水など

ユーザーアプリホーム画面(イメージ)



ポイント、ステータス進行設計とコンプリート特典(例)

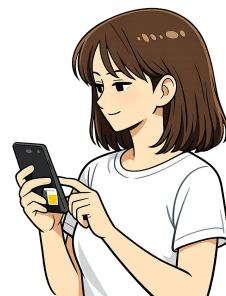
ポイントもステータスも会員に付与されるのではなく、コースターに付与される(譲渡時も引継ぎ)

ポイント例

- 来店証明発行時: 10pt
- 再来店時: 10pt
- コースターのビールのテスティング記録: 5pt
- 別のビールのテスティング記録: 2pt
- イベント参加: 任意加算(必須ではない)

ステータスとベネフィット

ステータス	昇格条件	ベネフィット 例
初期状態	—	—
ブロンズ	30pt	光るコースター進呈
シルバー	60pt	ポイント付与1.5倍化、
ゴールド	120pt	NFT付与(無償)、超音波コースター進呈



コンプリート特典

例) 小田急沿線の指定ブルワリーのコースターをコンプリート ⇒ NFT付き限定コースター